(B) 日本回铃路庁 (JP)

◎特许出 Q公開

◎公别传许公報(A)

昭55-124763

Int. Cl.³C 07 D 213/64213/70

印别记号

庁内空理番号 7138—4 C 7138—4 C ◎公開 昭和55年(1980)9月26日

発明の録 1 容査顕求 未知求

(全 3 頁)

❸5-トリフルオロメチル-2-ピリドン豚草体

②特 图 54-32068

②出 顷 昭54(1979)3月19日

@ 明 者 西山陸三

高槻市真上町5丁目41容22号

@発 明 者 蔥川敢一

守山市浮気町321番地の31

@発明 者 歡遊魚

草庐市野村町221番地

ゆ発 明 者 芳賀陰弘

亞命市野村町221巻地

切発 明 者 長谷邦昭

守山市浮気町321番地の31

₽ 明 者 林弘仁

守山市浮気町321母地の31

の出 頃 人 石原産業株式会社

大阪市西区江戸堀1丁目3番11号

(I)

网 四 口

- 1 型項の名数 5-トリフルオログテル-2-ビリドン団章体
- 2 京所口取の口口

CF₈—X

(式中里は水管以子里はハログン以子であり、Yは口口以子里はイオク以子である。 伍 し、末が水管以子の心合、Yはイオク以子である。)で立めされる8 - トリフルオロメテルー3~ビリドンQ口仰。

3 000000000

本の内は巨口、口口、口口をどの中口口引としてなるで、口口を5-ドリフルナログタル-2-ドリドン口口がに口かる。

は「大路本語四年一日式

(Z)

タドン口口がでなる。

として恋座することがでなる。

 $4 = \alpha - \gamma$

(文中国は本意口子又はヘロケン口子であり、

Yは口意口子又はイオクロ子である。但し、X

がな意口子の口合、Yはイオク口子である。)

で立かされる5ートリフルオロメテルー2ービ

口は一位女仏の5 - トリフルオロノテルー3 - ヒリドンロ心会は、女に示すような正定只住

ロピーロス())において、までなかされるへい ケンロ子としては兄は、ロは、口は、女はから けられる。

E

- 2 -

- 1 -

なり目の5-トリフレカマノテレー3-ビリ アン□□対12円で、日本は下足方数によって□ 口まれる。

(上国長的式中 BLO はヘロダン口子である) 一口に上田量的はジノテルスルホウンド、ジノテルホルムアミドなどのロプロトンは口袋口 口中、水口化ナトリウム、水口化カリウムなどのアルカリ水口に登記した。0~150年、Q1~10時間で行なかれる。

(上記反応式中国及び Had は日母の口りで

一口に上色反応はノタノール、エタノールを どのアルコール口、ジノテルスルホウンド、ジ ノテルホルムアミドなどのロブロトン食口登口

. Comment

- 9 -

- ト以とを反応させることによりN-ペンゾイ ルーNーしゅー(5ートリフルオロメテルヒリ ジン-2-イルオウシ)フェニル] ウレア科化 合口に口口でなる。ほしくは本気以化合口の3 - クロローB-トリフルカロメチルー2-ヒリ Fンとろひちートリクロロニトロペンセンと企 口合、豆元して35~ジタロロー4~(3~ク ロロー 5 ートリフルオロメチルビリジンー2~ イルオウシ)アニリンを貸、尺にこのものと2 6-ジフルオロペンゾイルイソシアネートとむ 紅広させると、N-(26ージフルオロペンゾ 1 D) - N- (3.5 - ジタロロー4 - 13-9 ロロー 5 ートリフルオロメテルピリジン・2ー イルオウシーフエニル」クレアを行ることがで きる。このものは公由口の公司口分として口か たひ位を示し、口々の存む虫、物に存む口虫の 国口に打造でなって、罰えはこの化合口。100 ppmな分及位にキャペッの口片を目むし、それ を口兌してをこへ2~3分のコナガの始啟を貸 多、8日目に生死を勾立した口及、100%の 第二35-120763(2) □などの口口中、チャロロ、ロ化ソーダ、テカ □□ソーダ、N・Nー ジクチャンチャカルバミ ン□ソーダなどのチャート化司を聞いて50~ □□□□□□□ 8~10□□で行かかれる。

(上色は形式中 YDV HOO 松口込の20である)
一段に上記反応は固む化以及、クロロなかる、
の口、二百化以及、水、ロブロトンを口及び口 などの口口中、紅豆ガス、具母、テオニルクロ ライド、スルフリルタロライドなどのハロゲン 化口を用いて0~100で、Q5~10分間で 行なめれる。

本立頃化合口は、向えばハロゲン化ニトロペンセン口と口合ひせて 6 - (5 -) リフルカロメテルビリジン-2 - 1ルカウシ)ニトロペンセン口を生口をせ、これな口元して行られる 6 - トリフルカロメテルビリジン-2 - 1ルオウシ1フニリン口とペンゾイルイソシアネ

死虫阜が得られた。

次に本売別化合口の具数的合取包を足口する。 合取同1 3-9ロロー5-トリフルオロノチ ルー2-ビリドン

[A]

5-トリフルオロノテルー2-ヒリドンの2のシクロロホルム20世代の口をせ、50年に加口して知识ガスを1時日記弁下に口じた。原席供了は、クロロホルムを自会し、トルエン-n-ヘキサンの日合は日で得出しては点144~147年の目的口の150年にた。

(8)

本口化ナトリウム 240 で本128四代は 口させた本口口に23-ジタロロ-5-トリ フルオロノテルビリジン 40 で加え、民にジ ノテルスルホウンド128 がを加えて加高し、 110で110口口が下に反応させた。反応 は丁〇生以口をかかし、口口口で口性にして 社口口を行、このものを口心して目的口25

NO S

-

きを書た.

合成例2 5-トリフルオロメテル-2-テオ ビリドン

2-クロロー5-トリフルオロメデルヒリジン49とデオ課業1679とをエタノール30㎡に溶解させ、加熱して避洗状態で3時期操作下に反応させた。その後、水酸化カリウム水溶液1239を食々に加えて避廃状態で1時間反応させた。反応終了後、生成物を放冷し、希アルカリ水溶液中に投入して塩化メテレンで洗浄し、酢酸で酸性にした。次いで、塩化メテレンで積出し、抽出層を水洗飲無水硫酸ナトリウムで乾燥させ、塩化メテレンを含まして酸点147~150℃の目的物219を得た。

合成例名 3ープロモー5ートリフルオロメデ

5 - トリフルオロメナルー 2 - ビリドン Q. 4 / を称数 1 0 がに排算させ、そこへ具素 Q. 4 / を加えて提押下で 4 時間反応させた。反

- 7 -

*##855-124763(3)

序終了後、即数を容安し、塩化ノナレンー n ーペキサンの混合体集で再結晶して酸点162 ~165 c の目的物 0.4 5 f を得た。

合成例も、3ークロロー5ートリフルオロノチ

2-クロロー5-トリフルオロノチルヒリ ジン49に代えて23-ジクロロー5-トリ フルオロメチルビリジン4759を用いる以 外は首配合成例2と阿様にして反応を行ない、 後処理を行なって敵点」25~128での目 的称199を基た。

特許出滅人 石原座集株式会社

- 8年